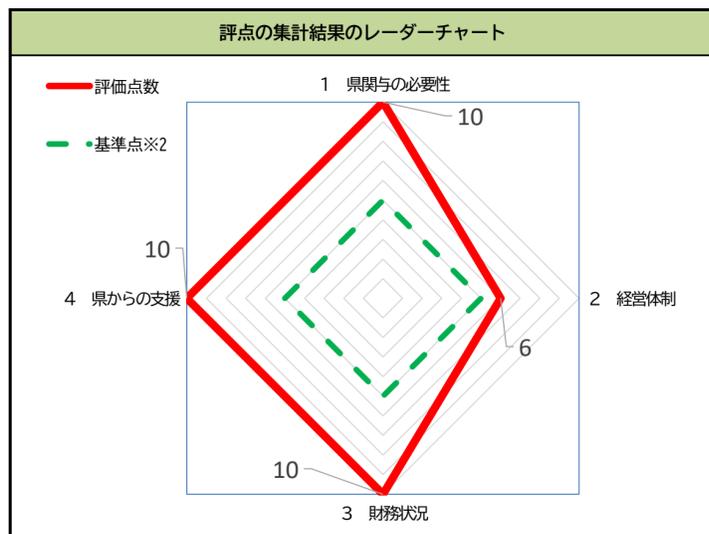


公社等外郭団体の経営状況等の評価に係る評価シート
【公益法人用】

団体名称	(公財) 印旛沼環境基金	所管所属名称	環境生活部水質保全課	評価実施年度	令和5年度	※1【説明】は評点をつけた側が理由等を記入し、【コメント】は評点をつけた側の採点結果及び説明を受けて評点をつけていない側が所見を記入しています。		
評価の視点	評価項目	評価配点	調査票該当番号	団体による評価		所管所属による評価		
				評点	説明又はコメント※1	評点	説明又はコメント※1	
1 県関与の必要性	① 当初の目的を踏まえつつ現在において必要性を問いつてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4	1	【コメント】 印旛沼の水質浄化の推進及び印旛沼周辺地域の環境保全という広域的な課題に対し、県と連携しながら、様々な取組を行っている。	1	【説明】 県と連携した経営改善の取組を行い、事業の一元化を実施した。当団体は自立して運営できており、県は積極的な介入はせず、事業活動の確認や必要に応じた指導を実施していきたい。	
	② 類似団体や民間団体などの他の担い手が存在している場合においてもなお、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい又は類似団体等は存在しない。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4					1
	③ 県が自ら施策を実施することその他の事業手法と費用対効果を比較して、出資又は出捐関係を維持する意義	1点：意義が大きい。 0点：意義が大きいとは言えない。 ▲1点：意義がない又は乏しい。	2~4					1
	④ 将来見通しを踏まえた、現状の県関与の必要かつ妥当な水準・方法	1点：水準・方法の維持や拡大が適当である。 0点：水準・方法の縮小や拡大、見直しを検討中である。 ▲1点：水準・方法の廃止検討や縮小、変更を行っている。	全体					1
	⑤ 県が定めた関与方針（策定済みであれば経営健全化方針を含む）に沿った取組	1点：概ね順調に進捗している。 0点：進捗していない部分がある。 ▲1点：主要な部分が進捗していない。	5 5-2					1
2 経営体制	① 「理事会等の開催・運営」や「財務諸表等の作成・公表・備置」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7	1	【説明】 理事会及び監査については、法令及び定款に基づき、適時適切に行っている。役員については、設立趣旨を踏まえ、県及び印旛沼流域市町の代表により構成している。当財団において、中長期経営計画等は策定していない。当財団の収入は各自治体からの出捐金の運用収入がほとんどであり、支出については印旛沼の浄化に関する事業への支出のみであること、また、今後も小規模かつ事業目的を限定した運用を行っていくことが考えられることから、自立経営を維持・継続させるための中長期的な計画を早急に必要としていない。	1	【コメント】 運営及び監査等、適正に行われている。役員への民間人材等の起用はしていないが、団体の設立趣旨を踏まえると、やむを得ないと思われる。中長期的な経営計画は、今後も小規模かつ事業目的を限定した運用を行っていくことが考えられ、自立経営を維持・継続させるため、早急に必要ではないと考える。各事業において、必要に応じて数値目標を設定する等してもらいたい。	
	② 「監査」の法令等に基づいた適正な実施	1点：義務を超えて又は外部的な監査を行っている。 0点：義務の範囲内で行っている。 ▲1点：義務を守れていない部分がある。	7					1
	③ 役員（監事・監査役を除く）への民間人材等（民間人材及びプロパー）の起用	1点：経営責任者に民間人材等を起用している。 0点：経営責任者ではないが民間人材等を起用している。 ▲1点：民間人材等は起用していない。	8					▲1
	④ 人員体制の将来見通し	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	8					1
	⑤ 中長期的な経営計画や達成目標となる指標の達成状況	1点：概ね達成できている。 0点：達成できていない部分がある。 ▲1点：策定していない又は主要な部分が未達成である。	9					▲1
3 財務状況	① 債務超過の状況	1点：直近3年間はいずれも債務超過ではない。 0点：直近3年間に債務超過の年度があった。 ▲1点：直近の決算は債務超過である。	10	1	【説明】 当基金は、収益事業はないが、基本財産を原資とする受取利息等により事業活動を行っていることから、財務上、債務超過や基本財産の減少等は生じていない。	1	【コメント】 当団体は受取利息等により事業を行っており、財務的な問題は抱えていない。自立して運営できているため、問題はない。	
	② 収入全体の状況 【公益法人用の評価項目】	1点：事業継続に必要な収入は確保できている。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	12					1
	③ 基本財産の状況 【公益法人用の評価項目】 ※繰越損益相当額がマイナスの場合、対前年度比で改善0点、同額又は悪化▲1点	1点：直近3年間はいずれも減少していない。 0点：直近3年間に減少した年度があった。 ▲1点：直近の決算は減少した。	10					1
	④ 経営健全化の必要性	1点：経営健全化方針の策定要件に該当しない。 0点：要件に将来的に該当する可能性がある。 ▲1点：要件に該当する。	5-2					1
	⑤ 財務状況の将来見通し ※経営健全化方針を策定している団体は、現時点の中長期的な収支予測比で、上回る1点、概ね予測どおり0点、下回る▲1点	1点：課題は見当たらない。 0点：将来的な課題がある。 ▲1点：5年以内に対応すべき課題がある。	全体					1
4 県からの支援	① 県からの人的な支援の状況	1点：人的な支援は受けていない。 0点：人的な支援を受けている。 ▲1点：県が給与等を負担する人的な支援を受けている。	4、8	1	【説明】 当基金は、経営難を理由とした県の財政的支援及び人的支援を受けていない。	1	【コメント】 経営難を理由とした県の財政的支援及び人的支援はしていない。当団体は事務組合の職員によって適切に運営されており、財務状況も問題ない。	
	② 経営難を理由とした県からの借入金残高の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11					1
	③ 経営難を理由とした県による損失補償等の状況	1点：0円又は対前年度決算比で減少が10%超である。 0点：対前年度決算比で増減が10%以内である。 ▲1点：対前年度決算比で増加が10%超である。	11					1
	④ 運営費補助や赤字補填等を目的とした県からの財政的支援の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12					1
	⑤ 経営難を理由とした県の追加出資又は出捐の状況	1点：直近5年間には受けていない。 0点：直近5年間で受けた年度があった。 ▲1点：直近の決算で受けていた。	12					1

評点の集計結果等			
評価の視点	基準点※2	評点	評価点数
	①	②	①+②
1 県関与の必要性	5	5	10
2 経営体制	5	1	6
3 財務状況	5	5	10
4 県からの支援	5	5	10

※2「基準点」は、超えていなければ、その評価の視点は改善が望まれる状態を意味する点数で、団体の強み、弱みを把握して改善を図る際に、参考にしてもらうことを期待しています。



総務課による総括コメント

経営状況等について問題がある事項は、特段見受けられない。関与方針に基づき団体による自主的な経営改善を維持し、引き続き、団体の設立目的や県が関与している意義に沿った事業展開を図っていただきたい。

なお、役員に民間人材等を起用していないこと、中長期的な計画又は達成目標となる指標をいずれも策定していないことについては、団体の特殊性を踏まえると、現時点ではやむを得ないものとする。